

<p>主体的な学び を実践している 児童生徒の姿</p>	<p>興味関心をもって 取り組む児童生徒</p> 	<p>することがわかって 自ら取り組める児童生徒</p> 	<p>自分の活動や友達の 活動を振り返り 改善点を見つける児童生徒</p> 	<p>自分のしたいことを決めて 相手に伝える児童生徒</p> 	<p>学んだことを、実際の 生活につなげる児童生徒</p> 
<p>具体的な指導の工夫の例</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が注視しやすい色彩で教材を作る。 児童生徒の身近な物事を題材に単元をつくる。 児童生徒にとって少しだけ難しい課題を用意し、挑戦できるようにする。 児童生徒が興味をひく、教材の提示や単元の導入を行う。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒にとってわかりやすい形でスケジュールを提示し、授業の見通しをもてるようにする。 児童生徒にとってわかりやすい形で手本を提示する。 かごやイラストカードなどを用意して、片付ける場所をわかりやすくする。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒にとってわかりやすい方法で、授業の振り返りをする。 友達からの評価をする時間を設定する。 児童生徒が課題を達成できた時に、すぐに称賛する。 児童生徒自身が考えられる発問をする。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で児童生徒自身が選択できる場面を設定する。 児童生徒が自分の気持ちを伝えられる方法を用意する。 授業の中で、どの活動をするのか、友達と話し合う場面を設定する。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の生活上の課題をもとに、単元を設定する。 家庭と連携して、できるようになったことを家庭でもできるようにする。 日常生活の中で、学んだことを思い出させる。 以前学んだ知識・技術を生かす場を設定する。 <p style="text-align: right;">等</p>

<p>対話的な学び を実践している 児童生徒の姿</p>	<p>友達と協働して 取り組める児童生徒</p> 	<p>人の話を聞いて 学ぶ児童生徒</p> 	<p>自分の気持ちを 伝える児童生徒</p> 	<p>人の真似をして 学ぶ児童生徒</p> 	<p>地域の人とともに 学ぶ児童生徒</p> 
<p>具体的な指導の工夫の例</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しないと、達成できない活動内容を設定する。 ・手つなぎダンスやペア活動等、友達と一緒に活動する機会を設定する。 ・児童生徒一人一人に役割を設定して、学習活動を行う。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に伝わりやすい方法で指導者が伝える。 ・指導者の指示に集中できる環境をつくる。 ・児童生徒同士で意見を交流する場面を設定する。 ・児童生徒の発言をわかりやすくまとめて他の児童生徒に紹介する。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にあったコミュニケーション方法を準備する。 ・児童生徒の表出の仕方を指導者が理解しておく。 ・遊具を交代してもらうときのルールを事前に決めておく。 ・話し合いの方法を教える。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の活動を見る場面を設定する。 ・指導者の手本を見せる。 ・完成見本や手順表など、児童生徒にとってわかりやすい形でやり方を提示する。 ・友達の活動を見ることが出来る場所配置を設定する。 <p style="text-align: right;">等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で学習する単元を年間を通して計画する。 ・地域の人と一緒に協力して活動する単元を設定する。 ・地域の人を講師として招く。 ・校外で地域の人とあいさつをするように促す。 <p style="text-align: right;">等</p>

<p>R2 府立南山城支援学校</p> <p>深い学び 授業改善シート</p> <p>深い学び を実践している 児童生徒の姿</p>	<p>授業で学んだことを 日常生活に生かす児童生徒</p> 	<p>問題解決の方法を探し 試行錯誤する児童生徒</p> 	<p>友達の姿を見て 新しいことを学ぶ児童生徒</p> 	<p>様々な教科の知識・技術を 組み合わせて生かす児童生徒</p> 	<p>次の学習への意欲を 自ら抱く児童生徒</p> 
<p>具体的な指導の工夫の例</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の生活上の課題を基に、学習活動を計画する。 生活の中で学習したことを思い出させる。 授業の中で、実際の生活場面に近い状況を設定する。 学習した内容を活用した当番活動を設定する。 <p>等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えをすぐに教えず、児童生徒自身が課題解決の方法を考えられるようにする。 いくつかの方法を提示し、児童生徒にどの方法で行うか決めさせる。 振り返りの際に、どうすれば上手にできるのか、どうすれば失敗しないのかを考えさせる。 <p>等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の学習活動や作品を見る機会を設定する。 友達の様子や作品を授業の中で紹介する。 友達の良いところを見つける学習を設定する。 友達の意見を聞く場面を設定する。 <p>等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を相互に関連させる年間計画を作る。 学習した内容を思い出させて、生かす場面を設定する。 学習した内容を次の学習に生かせるように設定する。 身につけた知識・技術を発揮できる学習内容を設定する。 <p>等</p>	<p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒自身に何ができるようになるための学習なのか伝える。 扱う教材の面白さを紹介する。 児童生徒の興味のあることや身近なものを教材として設定する。 道のりシートなどで学習の見通しをもたせる。 <p>等</p>